



まちの子育てひろば情報

No.149

平成27年2月1日発行

インフルエンザが流行しています。

まずは手洗い、うがいをしっかりと、感染予防に努めましょう。

ひろば紹介



ファミサポ交流ひろば（加東市社）

ひろば開催日時：不定期

連絡先：加東市役所1階 ☎0795 (43) 0444



加東市ファミリー・サポート・センターの会員の方々が集まり、子どもを預かる際の注意点や子どもの身体の発達について学びました。

ファミリー・サポート・センターは、地域で子育てを支え合うお手伝いをされています。会員登録を行えば、保育施設の送迎や保育施設の時間外、保護者の病気や急用時などに子どもを預かってもらうことができます。また、そのような援助を行っていただく方との相互関係により成り立っています。

子どもの預かりをお願いされているご両親は忙しく、帰宅後は子どもと密に接する時間がないかもしれません。援助していただく側では、そこを少しでもカバーしてあげることができればいいのではないのでしょうか。例えば、子どもはお手伝いが大好き!!

でも、両親は慌ただしく、つい「もういいよ」と言ってしまうこともあるかもしれません。だから、預かり宅では洗濯物をたたんだり、料理の配膳など簡単なお手伝いをさせてあげ、思いっきりほめてあげれば子どもはとても満足できますとアドバイスをいただきました。

参加された方々は、子どもの成長過程にあった対応をすることが大切だと改めて確認しました。これからも子どもたちの成長の手助けをしていきたいですと言われていました。



森の子育てひろば全県フォーラム

参加者募集

参加費無料

子育て支援や保育、幼児教育に関わる支援者・指導者の皆さんと親子に関わる幼児期の自然体験活動について考えます。

「森の子育てひろば」とは、県立こどもの館が開設している自然の中での親子あそびをメインプログラムとする「子育てひろば」です。

開催日 3月7日（土）
時間 午前の部 10:30~12:00
午後の部 13:00~15:30
会場 県立こどもの館
(姫路市太市中915-49)
対象 保育士、幼稚園教諭、児童館職員
まちの子育てひろば関係者
子育て支援に関わる方等

内容
午前の部 「森の子育てひろば」見学会
& プログラム体験会
午後の部 (1) 森の子育てひろば・
自然体験プログラム解説
(2) 事例発表及び実践交流会

お問い合わせ先 県立こどもの館指導課
☎079 (267) 1153

ひろば紹介



愛の光 こひつじひろば（加西市段下町）

ひろば開催日時：毎月1回 水曜日 10:00~12:00

ひろば開催場所：愛の光幼稚園

整理収納アドバイザーの方に『もうイライラしない、子どものおもちゃお片付け』をテーマにお話いただきました。

テレビや雑誌等で知った整理術を真似してみようとしても、どうも

しっくりいかないという経験はないでしょうか？ 人それぞれ環境が違うため自分に合うものをチョイスすることが必要です。

まずは、子どもが自分で片付けられる仕組み作りをします。最初は箱1つに片付けられるように、もう少し増えてきたら、箱に写真や絵で分かりやすくラベルをつけて種類ごとに分けて入れられるように。あまりに増えてきたら子どもは片付けられないので大人が分別します。いつも遊んでいるものは身近に置く、たまに遊ぶものはクローゼットに入れる、そして、もう使わない物は捨てたり、リサイクルするといいですね。子どもが上手にお片付けができるようになるには、誰のために、なぜお片付けをするのかを伝えていくことが大切です。そのために

「片付けなさい」と言う前に、「遊びたいおもちゃがすぐに見つかったね」というように子どもの立場に立った声掛けをしていきましょう。

毎日のお片付けの習慣が将来のお片付け上手につながります。子どもが少しずつステップアップできるように、お母さんも工夫を重ねていきましょうと教えていただきました。



2月3日は節分です

節分は、暦の上で季節の始まりの日（立春・立夏・立秋・立冬）の前日のことで、季節の分かれ目を意味します。旧暦では立春から新年が始まっていたため、4つの節分の中でも立春前の節分は大切な節目の日。新年に福を呼び、悪いことを起こす邪気をはらう行事が行われるようになり、やがて節分といえはこの日をさすようになりました。



今年の恵方は西南西

節分に巻ずしを食べる風習はすっかり定番になりましたね。これは「巻く」ということから「福を巻き込む」、「切らずに食べる」ことから「縁を切らない」という意味が込められています。巻ずしの形が黒くて太いことから鬼の金棒にみたて、鬼の金棒を食べて鬼退治をするという意味もあるようです。

七福神にちなんで7種類の具材が入った太巻きが良いとも言われています。運が逃げてしまわないよう無言で、願い事をしながら黙々と食べましょう。もちろん、包丁で切らずに丸ごと1本!! これで、皆さんのもとに福がやってくることでしょ。



鬼は外！福は内！

豆まきには炒った豆を使います。

拾い忘れた豆から芽が出てしまうと悪いことが起きると言われているからです。

そして、まいた豆を年（数え年）の数だけ食べます。福を年の数だけ身体に取り入れ、次の年も健康で幸せに過ごせますようにとの願いを込めて。ちなみに、年の数より1つ多く食べるという地方による風習の違いもあるようです。



鬼のパンツは何の柄？

鬼は「鬼門（きもん）」と呼ばれる北東に住んでいます。北東のことを昔から「丑寅（うしとら）」というので、鬼は丑（牛）の角と寅（虎）のきばを持ち、寅の皮のパンツをはいています。鬼のパンツはトラ柄!! ヒョウ柄ではないですよ。

